

平成25年度京都市地域プラットフォーム事業

京都D-School

ビジネス総合力養成講座

デザイン

Design



Empathy

共感

Story

ストーリー

調和

Symphony



Play

遊び心



Meaning

生きがい



ビジネスモデルをデザインするとは？

時代の変化は加速度を増し、もはや消費が豊かさの象徴である時代は終焉を迎え、真の豊かさとは何か、その価値を見つめ直す時代が来ています。これは、ある意味で過去の通念は全く役に立たないということを意味しています。

つまり、現代社会において、未来に向かって挑戦しようとする方々にとって最も重要なのは、変化の予兆を的確に捉え、過去の通念に囚われずに、様々な角度から仮説を立て、その仮説を検証しながら、真の価値を紡ぎだす柔軟な「発想力」が求められているということではないでしょうか。

京都D-School(京都デザイン*スクール)では、9年の歳月をかけて、45カ国、470人の方々方が作成に携わった新しいビジネスモデルを創造するための実践ガイド「ビジネスモデル・ジェネレーション ビジネスモデル設計書」を活用して、本書の目次にある各項目を独自の切り口で深く学習していきます。

その学習を通じて、「ビジネスが提供する価値を徹底して突き詰め磨き上げる能力」、米国ビジネスマンに圧倒的な影響力のあるダニエル・ピンク氏が提唱される『6つのセンス(「デザイン

(Design)」「物語(Story)」「調和(Symphony)」「共感(Empathy)」「遊び心(Play)」「生きがい(Meaning)』、「仮説を構築しマネジメント(仮説検証)する能力」を鍛錬し、連続と創発的なビジネスが想起される場所の構築を目指しています。

MITメディアラボ所長の伊藤穰一氏は、所長に就任時の教員会議で「メディアラボで我々が働く理由は何か?」という議論をし、「uniqueness」(他の人がやっていることはやらない)、「impact」(社会にプラスの影響を起こす)、「magic」(自分自身にパッションをもち、成果を説明する時にでさえワクワクし、動いていることそのものが楽しいというモチベーションになる)という3つのプリンシプル(指針)を出されています。(※http://www.nhk.or.jp/superpresentation/backnumber/130204.html)

京都D-Schoolで学び経験されることを通して、社会の掟/規範を飛び越える、「uniqueness」と「impact」と「magic」、そして人々を惹きつける「magnetic」な事業を世界に展開されることを切望しております。

※「デザイン」とは、人と人、人とモノをつないで感動・感謝・笑顔を作る“こと創り”であり“価値創り”だと定義しています。

講座の全体構想としては、世界45カ国、470人もの実践家が共同執筆した「ビジネスモデル・ジェネレーション ビジネスモデル設計書」(BMG)の全ての項目をより深く学習することで、デザイン思考に立脚したビジネスモデル構築の重要性を理解していただけます。

オープニングセミナー 5月25日(土) 13:00~17:50

講師 ▶ 小山龍介 (ビジネスモデルジェネレーション(BMG)の訳者)
ビジネスモデルを、記述、分析、デザインするツールと5つのビジネスモデルパターンを紹介し、ビジネスモデルのダイナミクスを理解していただけます。

1 Canvas 2 Patterns 3 Design 4 Strategy 5 Process

顧客デザイン 6月29日(土) 13:00~17:50
6月30日(日) 13:00~17:50

講師 ▶ 大江 建、岡田康子、小阪祐司
顧客の購買動機を徹底的に追究する2日間です。顧客の心理を整理・分析するツールを学習します。

アイデア創造 7月27日(土) 10:30~17:50
7月28日(日) 10:30~17:50

講師 ▶ 高内 章、石井力重
ビジネスモデルの創出に向けて、アイデアを如何に搾り出すか。異なる2つのアプローチで理解を深めます。

ビジュアルシンキング 8月24日(土) 13:00~17:50

講師 ▶ 河野龍太、金子英之
デザイナーの発想法を学び、より情報量の多いビジュアルデータを活用したビジネスモデルの表現方法を学習します。オプション講座として、京都の大学や産業支援機関との連携の下、最先端の戦略論を学習します。

ビジネスプラン発表会

2月22日(土) 13:00~17:50
「仮説のマネジメント」をテーマに全講座を通して実施してきた、仮説検証及びワークショップを踏まえてモデル構築のプロセスを検証します。

プロトタイピング 9月21日(土) 13:00~17:50

描いたビジネスモデルに関する仮説検証の結果を発表していただき、様々な評価を踏まえて、次なるプロトタイピングに役立てていただけます。

ストーリーテリング 10月26日(土) 10:30~17:50
11月23日(土) 10:30~17:50

講師 ▶ 照屋華子、河野龍太、金子英之
自分の思いを的確に伝え、相手にアクションを起させる手法として、ロジカルライティング(左脳の)とストーリーボード(右脳の)での表現法を学習します。

シナリオ 12月21日(土) 13:00~17:50
1月25日(土) 13:00~17:50

講師 ▶ 高内 章
シナリオプランニングのプロから、20年先の世の中の変化を考える指標を的確に選び出す手法を学習します。

※全日程10:30からのスタートとなり、上記の講座内容以外に記念講演やワークショップを実施します。

www.businessmodelgeneration.com

京都D-Schoolの講座と併設して「ビジネスアイデア創出のための日本(京都)文化講座」を開催しており、京都D-Schoolの全過程をお申込の方は文化講座の参加が必須となります。日程 ▶ 7/13(土) 8/10(土) 9/14(土) 10/12(土) 11/9(土) 12/14(土) 時間 ▶ 11:00~12:30 場所 ▶ 弘道館(京都市上京区上長者町通新町東入元土御門町524-1)

平成25年度のビジネスモデル構築テーマは、京都をベースにした日本文化のコンテンツをグローバルに発信するビジネス提案をイメージしております。

修了生の声

学ぶことを楽しむ場。本でしか会えなかった講師陣に会える場。ビジネスに必要な感性を鍛える場。他のどこにもない学びの場。

オムロンソーシアルソリューションズ(株) ソリューション事業本部 開発センタ 商品開発部 竹中 美加さん (「京都D-School」2012年度修了生)

招聘予定講師 (敬称略・順不同)

山口 栄一

▶ 同志社大学大学院総合政策科学研究科教授 同志社大学ITC副センター長 東京大学理学部物理学卒業、同大学院理学研究科物理学専攻修士課程修了。理学博士。ベンチャー企業を創業し、各社の取締役を務める。《主な著書》「JR福知山線事故の本質—企業の社会的責任を科学から捉える」(NTT出版) 「イノベーション 破壊と共鳴」(NTT出版) 他

小山 龍介

▶ コンセプトクリエイター 株式会社ブルームコンセプト代表取締役 名古屋商科大学大学院 マネジメント研究科 客員教授 NPO法人「場の研究所」理事 1975年福岡県生まれ。京都大学文学部哲学科美術史卒業。大手広告代理店勤務を経て、米国MBAを取得。2006年からは松竹(株)で新規事業を立ち上げ、2010年より現職。歴史ある組織内での新規事業立ち上げ支援などを行っておられます。《主な著書》「IDEA HACKS!2.0」(東洋経済新報社) 「クラウドHACKS!」(東洋経済新報社) 「Facebook HACKS!」(日経BP社) 「10年後もワクワクできる20代の未来改造計画」(東洋経済新報社)

大江 建

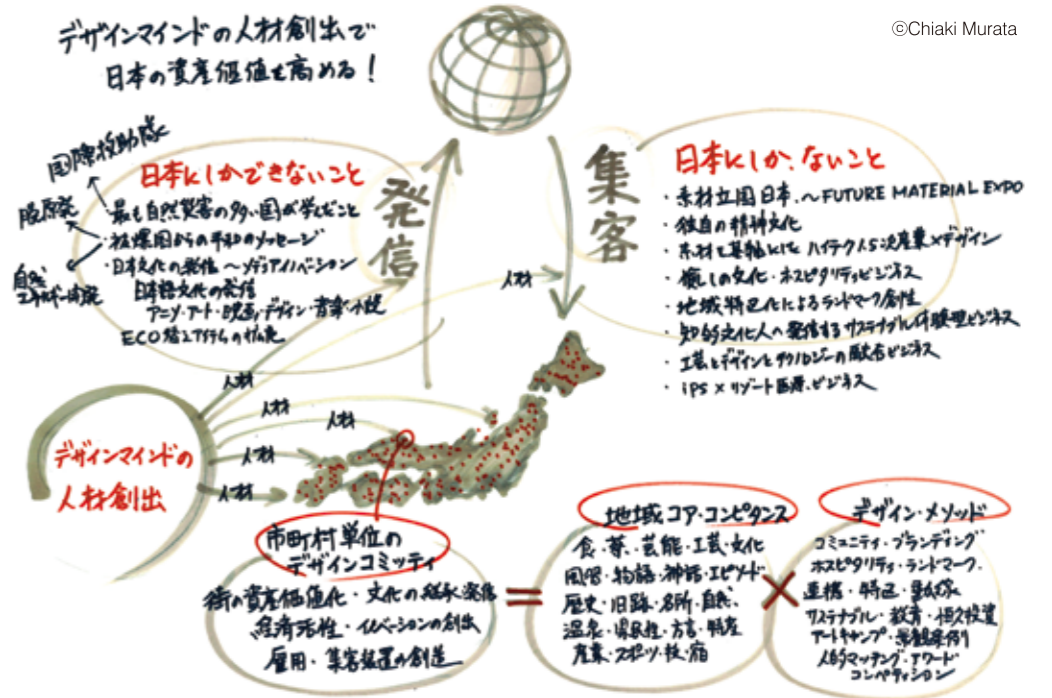
▶ 大江事務所 代表 元早稲田大学 ビジネス研究科 教授 日本大学理工学部卒業後、プリンストン大学天体物理研究所フルブライト研究員を経て、メリーランド大学にてPh.Dを、コロンビア大学にてMBAを取得。また、社内起業研究会を主宰され、新規事業や社内ベンチャーの支援、評価のためのメソッドを開発され、その成果を実際のコンサルティング等に活かされています。《主な著書》「なぜ新規事業は成功しないのか」(日本経済新聞出版社) 他

岡田 康子

▶ 総合コンサルティングオアシス 代表取締役 社内起業研究会を運営し、「新しい事業を如何にして生み出すか」「如何にして成功に導くか」を研究。「仕事に関与する人々が持てる能力を最大限に発揮し、いきいきと個性を活かして仕事をするためにはどうしたらよいか」ということを模索し続けておられ、多数の企業のコンサルティングや教育を実践してこられました。

小阪 裕司

▶ オラクルひとしくみ研究所 代表 九州大学 客室教員 日本感性工学会 理事 大手小売業にて店舗運営等に従事され、「人間の消費行動」を探求してこられました。その後、広告代理店を経て、「オラクルひとしくみ研究所」を設立。「人間の感性と行動」を中心とする独自のアプローチで数々のプロジェクトを手がけられた他、現在は実践企業の一員として、企業のビジネス活動を幅広くサポートしておられます。《主な著書》「お客さまの「特別」になる方法」(角川書店) 「「心の時代」にモノを売る方法」(角川Ioneテーマ) 「価値創造の思考法」(東洋経済新報社) 「「買いたい!」のスイッチを押す方法」(角川書店) 他



高内 章

▶ Strategic Business Insights, Inc Intelligence Evangelist, Principal Consultant 京都大学工学部卒業後、鐘紡株式会社に研究員として入社され、その後、地球環境事業推進、研究企画、新事業開発などの業務に従事されました。1999年に米国SRI Consulting社のBusiness Intelligence Center(現ストラテジック・ビジネス・インサイツ社)に移られた後はIntelligence Evangelistとして、様々な産業分野のクライアントと共に、変化の予兆を探るブレインストーミングに継続して関わる一方で、未来の不確実性に対峙しつつ長期的な事業開発に取り組む企画担当者をサポートするプロジェクトを、数多くでかけていらっしゃいます。

石井 力重

▶ アイデアプラント 代表 東北大学大学院・理学研究科修士課程卒業。ブレインストーミングや創造技法の実践と理論の両面に強い興味を持たれ、創造工学(Creative Problem Solving, TRIZ)を研究しておられます。人がアイデアを考え出す際のプロセスを研究し、そこから創造的思考を補佐する「アイデア創出の道具」を作っておられます。《主な著書》「アイデア・スイッチ 次々と発想を生み出す装置」(日本実業出版社) 他

河野 龍太

▶ 株式会社インサイトリンク 代表取締役社長 早稲田大学法学部卒業。英国ウォーリック経営大学院にてMBA取得。1988年博報堂に入社。マーケティング局に所属し、マーケティング戦略、ブランド戦略、広告戦略に関する国内外の大手クライアントの多数のプロジェクトに関与。「マーケティングで、企業を変える」ことを目指し、経営視点からのマーケティング改革を軸に、ビジョン、ブランド、Web、コミュニケーションまで、統合的な戦略のデザインを教授しておられます。

金子 英之

▶ 有限会社アイツアソシエイツ 取締役 高校時代に、中西元男氏の著書PAOSの書籍と出会う。衝撃を受け、デザイナーを志し、戦略デザイン発祥の早稲田大学デザイン研究会に入部。早稲田大学 第一文学部美術史科東洋美術史専攻卒業。環境デザイン会社、企画デザイン会社を経て、同僚と独立・起業する。知的横断型デザインを旨として、出版企画・店舗開発・販促企画・博物館企画・事業開発・企画展示立案・建築開発などを手掛け、早稲田大学関連のデザイン開発や事業開発に数多く従事。社会人になってから、青山学院大学経営学部経営学研究所へ進学、「経営史」を学ばれ、桑沢デザイン研究所が主催する(STRAMD)では、特任講師として、「美的感覚練成論」を教授しておられます。

照屋 華子

▶ コミュニケーションスペシャリスト 東京大学文学部社会科学科卒業。株式会社伊勢丹広報担当を経て、マッキンゼー・アンド・カンパニーでコンサルティング/レポート等の論理構成・日本語表現をアドバイスをするエディティング/サービスに従事。現在は独立し、ロジカル・コミュニケーションの手法開発や企業研修の企画・実施、エディティング/サービスに取り組むほか、ビジネス・ブレイクスルー大学大学院教授や首都大学東京大学院の非常勤講師を務めておられます。《主な著書》「ロジカル・ライティング」(東洋経済新報社) 「ロジカル・シンキング」(共著・東洋経済新報社)

京都D-School Opening Seminar

5/25
(土)

10:30~12:00



山口 栄一

▶同志社大学大学院総合政策科学研究科教授
同志社大学ITEC副センター長

東京大学理学部物理学卒業、同大学院理学系研究科物理学専攻修士課程修了。理学博士。1979年、日本電信電話(現NTT)入社。1990年から基礎研究所主幹研究員。フランスIMRA Europe招聘研究員、21世紀政策研究所主幹を経て、2003年より現職。ベンチャー企業を創業し、各社の取締役を務める。

《主な著書》

「JR福知山線事故の本質—企業の社会的責任を科学から捉える」(NTT出版)
「イノベーション 破壊と共鳴」(NTT出版) 他

経済価値及び社会価値をもたらすあらゆる改革行為としてのイノベーションは、必ず何らかのブレークスルーが存在します。そのブレークスルーのイノベーションの源泉を理解するために、「知の具現化」と「知の創造」の2次元空間でイノベーション・プロセスを表現するイノベーション・ダイアグラムの方法を用いて新しいイノベーション理論を展開します。さらに、この理論に基づいて、技術の「目利き力」とは何なのか、その本質を探り、「目利き力」には3つのパターンがあること、そしていずれの場合も、演繹的思考よりも回遊的思考が重要であることを語っていただきます。

13:00~17:50



小山 龍介

▶コンセプトクリエイター
株式会社ブルームコンセプト代表取締役
名古屋商科大学大学院 マネジメント研究科 客員教授
NPO法人「場の研究所」理事

1975年福岡県生まれ。京都大学文学部哲学科美術史卒業。大手広告代理店勤務を経て、米国MBAを取得。2006年からは松竹(株)で新規事業を立ち上げ、2010年より現職。歴史ある組織内での新規事業立ち上げ支援などを行っておられます。

《主な著書》

「IDEA HACKS!2.0」(東洋経済新報社)
「クラウドHACKS!」(東洋経済新報社)
「Facebook HACKS!」(日経BP社)
「10年後もワクワクできる20代の未来改造計画」(東洋経済新報社) 他

どのように価値を創造し、顧客に届けるかを論理的に記述するためのツールとして開発されたビジネス・モデル・キャンパス(BMC)の使い方を学習し、ビジネスモデルを記述、分析、デザインすることの重要性を認識します。また、BMCを活用して5つのビジネス・コンセプト(アンバンドル、ロングテール、マルチサイドプラットフォーム、フリー戦略、オープンビジネスモデル)を解説し、ビジネスモデルのダイナミクスを理解していただいた上で、他のコンセプトに基づく新しいパターンのビジネスモデルをデザインしていただきます。

受講対象者

1. 企業において新規事業や社内ベンチャーの立ち上げに関与している方
2. 企業において経営戦略を立案・実践している方、又は今後実践する方
3. 起業を目指している方、自身のベンチャースピリットを高めたい方
4. 発想力・論理力など、個人のスキルアップを図りたい方

申し込み方法

市役所、新事業支援機関等に設置しているパンフレット、Web等より、必要事項をご記入の上、事務局までお申し込みください。なお、申込受付が完了した方から事務局より参加証を送付させていただきます。
※申込書に記載の個人情報は個人情報保護法を遵守し、目的以外には使用いたしません。

申し込み締切

各講座開始日の5日前となります。
例:第1回5月25日(土)の場合は、5月20日(月)が締切となります。
※全講座受講者の方は、6月24日(月)を締め切りとさせていただきます。

定員/参加費

- 定員** 各講座 30名
(第1回のオープニング講座のみ、定員を50名とします)
※定員になり次第、締め切らせていただきます。
※全講座受講申込者を優先し、定員に余裕がある場合に講座単位の受講を受け付けます。
- 参加費** 全講座受講者: 企業及び一般 105,000円(税込)
学生 52,500円(税込)
各講座受講者: 企業及び一般 20,000円/日(税込)
学生 10,000円/日(税込)
- ※第1回オープニング講座のみ無料とさせていただきます。
※STC3会員、Aランク認定企業、オスカー認定企業は5,000円/日(税込)となります。
※全講座受講者は、講座開講期間中 STC3 会員(DAY 会員)として登録させていただきます。
※STC3 会員、A ランク認定企業、オスカー認定企業に関するお問い合わせは、事務局までお願いいたします。

- 場 所** (公財)京都高度技術研究所内
プレゼンテーションルーム (10F) 他
- ※参加費には、研修で使用する教材・e-learning・SNS の利用・消費税などの費用が含まれております。
※全講座を修了された方は、「修了証」をお渡しいたします。

お問い合わせ

公益財団法人京都高度技術研究所 新事業創出支援部 (担当:更田、高橋)

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134番地
TEL 075-315-6725 FAX 075-315-6634
E-mail office@mot.astem.or.jp URL kyoto.dschoool.jp

▶JR嵯峨野線「丹波口」駅 徒歩5分 ▶市バス「京都リサーチパーク前」停

